

● 西北

パラグアイ側と顔合わせ 町職員派遣前にオンラインで



甘楽 甘楽町は9日、町から職員を派遣するパラグアイ・イグアス市との顔合わせ会を町役場を拠点にオンラインで開いた＝写真。派遣を予定する住民課環境係の佐藤愛さん(42)を画面越しに紹介したほか、茂原荘一町長、

同市の河野マウロ市長ら関係者が現地の環境問題などについて情報を共有した。

町と国際協力機構(JICA)東京センターが3月に交わしたJICA海外協力隊派遣に関する覚書に基づき、佐藤さんは来年1月から

2年間、協力隊員として同市に派遣され、ごみ問題や環境保全の指導に取り組む。活動期間中は町から支援を受けられ、帰国後の復職も確約されている。

河野市長は佐藤さんに「やるべきことがたくさん待っている」と伝え、市のリサイクル施設活用が不十分であることや、ごみの分別意識が市民に根付いていない現状を説明。町での実務経験を生かし、問題解決のために力を貸してくれるよう求めた。佐藤さんは「環境分野の知識や語学習得など派遣に向けて準備し、貢献できるようにしたい」と意気込んだ。

茂原町長は「派遣が甘楽とパラグアイの交流の輪を広げる機会になってほしい」と期待した。

(神辺尚美)